



# 平成28年度当初予算における主要施策

豊かなまち紀の川市の実現をめざして ～地方創生に向けて始動～

平成28年2月  
紀の川市



# 目次

◎ 予算編成の基本的な考え方	.....	P.1
◎ 当初予算額の比較	.....	P.2
◎ 各主要施策について	.....	P.3~

## ① 地域資源を活かした魅力あるまち

1. シティプロモーションの推進	P.3
2. 移住定住の推進	P.4
3. 観光プロモーションの推進	P.5
4. 近畿大学との連携強化	P.6
5. 道の駅「青洲の里」を拠点とした活性化の推進	P.7

## ② 魅力ある仕事・職場のあるまち

1. 基幹産業である農業の振興・活性化	P.8
2. 農作物の高付加価値化と販売促進	P.9
3. 創業者に対する支援の充実	P.10
4. 就業支援体制の整備・充実	P.11
5. 企業誘致の推進と企業間ネットワークの強化	P.12

## ③ 若い世代から選ばれるまち

1. 医療費助成制度の拡充	P.13
2. 出会いと交流の場の創出	P.14
3. 教育環境の充実	P.15
4. 保育環境の充実	P.16
5. フルーツ給食の実施	P.17
6. 日本体育大学との連携・交流	P.18

## ④ 安全・安心で暮らし続けたいまち

1. 京奈和関空連絡道路の整備促進	P.19
2. 公共交通機関の充実・維持	P.20
3. 道路の利便性向上と歩行者の安全確保の推進	P.21
4. 災害対応力の強化	P.22
5. 認知症対策の充実	P.23

## ⑤ 健全で持続可能な行政経営を行うまち

1. 市民目線に立った行政運営の仕組みづくり	P.24
2. 計画的な公共施設の解体・統合の推進	P.25



## 予算編成の基本的な考え方

### 【これまでの施策】

「安全・安心なまちづくり」を念頭に基盤整備を中心としたまちづくりを展開

### 【平成28年度予算編成の考え方】

- ①これまで整備してきた基盤を活かし、「市」として更なる発展を目指す
- ②市が直面している課題への対応（地方創生、人口減少、少子高齢化など）
- ③中長期的なビジョンを持った行財政運営と財政健全化の堅持（普通交付税の合併算定替が縮減）

課題を克服しながら豊かさを実感できるまちづくりを推進

### 予算テーマ

#### 「豊かなまち紀の川市の実現をめざして ～地方創生に向けて始動～」

「長期総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて「5つの柱」を設定

- ①地域資源を活かした魅力あるまち
- ②魅力ある仕事・職場のあるまち
- ③若い世代から選ばれるまち
- ④安全・安心で暮らし続けたいまち
- ⑤健全で持続可能な行政経営を行うまち

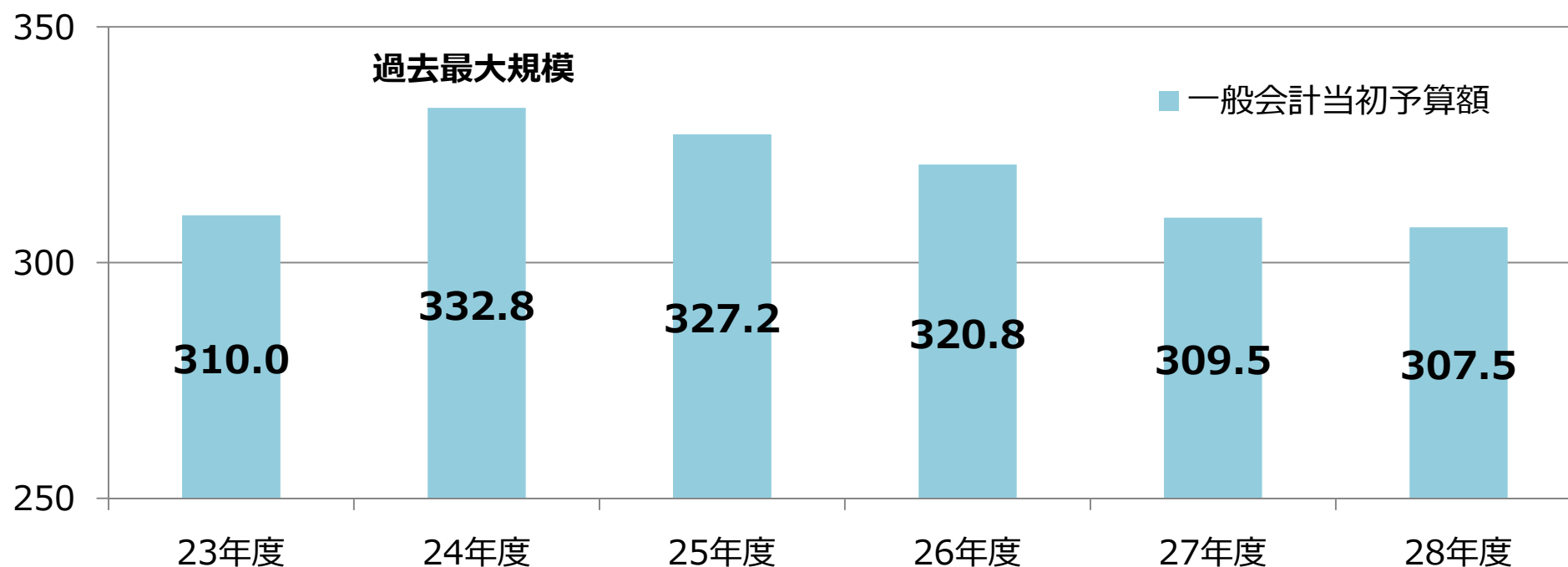
## 当初予算額の比較

会計	平成28年度	平成27年度	比較（対27年度比）	
一般会計	307億5,000万円	309億5,000万円	△2億円	△0.6%
特別会計	204億1,876万円	198億5,336万円	5億6,540万円	2.8%
公営企業会計	21億7,781万9千円	21億5,382万5千円	2,399万4千円	1.1%
合計	533億4,657万9千円	529億5,718万5千円	3億8,939万4千円	0.7%

## 一般会計当初予算額の推移

(単位：億円)

平成24年度以降、4年連続して一般会計予算額は減額



# シティプロモーションの推進

担当課：広報広聴課/総務課

## 事業概要・目的

「紀の川市を知ってもらおう」ということに主眼を置き、市が持つ魅力を積極的に情報発信し、市の認知度アップとイメージアップを図り、交流人口の拡大につなげます。

**新規**

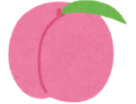
### ●シティプロモーションの強化 8,370千円

- プロモーション戦略の策定  
今後5年間のプロモーションプランを策定
- プレスツアーの開催  
新聞、テレビ、雑誌等のメディア関係者を市へ招待し、観光スポットや旬のフルーツなどの市がもつ魅力を紹介するプレスツアーを開催
- 戦略的プレスリリースの実施  
発信する情報に最も適した情報媒体を選択し、戦略的な情報発信を定期的実施
- 情報発信力の強化
  - ・職員対象のPR・情報発信研修の実施
  - ・庁内での情報共有、PR材料の集約
  - ・Facebookの更なる活用推進



### ●ふるさと納税のPR 64,376千円

- ふるさと納税制度を積極的に活用し、地元特産品のPRと歳入確保に努めます。
- ふるさと納税ポータルサイト（ふるさとチョイス）へのバナー広告掲載
- 返礼品とは別に市のPRグッズをお届け
- 各種イベント等において積極的にPR  
庁内の連携を図り、観光イベントやトップセールス時にも積極的にPRを実施
- 引き続き返礼品の充実を図ります。



平成28年2月～  
返礼品の送付開始



## 紀の川市の知名度アップとイメージアップ

# 移住定住の推進

担当課：企画調整課/商工観光課

## 事業概要・目的

移住定住に関する情報を集約、発信する総合窓口（ワンストップ窓口）の開設と受入れを支援するためのプラットフォームを整備し、積極的に移住者の受入れを進めていきます。

### ●受入体制の整備 981千円 新規

○市にワンストップ窓口を開設し、各種相談と情報発信

ワンストップ窓口から情報発信



○受入れを支援するための協議会を設立し、以下の事業を実施

- ・移住者向けフェアへ出展
- ・アンケート調査
- ・空き家調査、農地情報の提供
- ・リーフレット作成



### ●地域おこし協力隊の導入 8,845千円 新規

地域外の人材を積極的に誘致し、地域の活性化を促進するとともに、その人材の定住及び定着を図ります。

平成28年度については  
観光分野で2名募集する予定



# 観光プロモーションの推進

担当課：商工観光課

## 事業概要・目的

紀の川市がもつ観光資源や地域資源などの魅力を最大限にPRし、紀の川市への誘客を図るための取り組みを推進します。

### ●観光ファン拡大の取組み 10,600千円

紀の川市の代表的地域資源である「フルーツ」を軸にした誘客の仕組みづくり（観光ファンづくり）



## 市民との協働による フルーツ・ツーリズムの展開

- フルーツ博覧会の開催  
フルーツをテーマに人々が交流し、フルーツ文化を育て、健康な暮らしを作る参加・体験型博覧会の開催



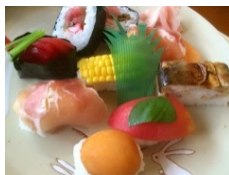
プレ・フルーツ博の様子（H27.11）

- ファンクラブの設立  
紀の川市ファンクラブの設立



フルーツカレンダー

- フルーツ関連商品の開発  
フルーツにちなんだ商品や料理の開発



フルーツ寿司

### ●観光プロモーションの強化 6,787千円

観光協会と連携し、市の観光PRを積極的に展開し、交流人口の拡大を目指します。

- フルーツ大使（藤原紀香さん）の活用
- 都市圏を中心とした各地でのPR・物販イベントへの出展
- 観光PRカー「ぷるぷるワゴン」を活用したPR  
観光協会のフルーツキャラクター「ぷるぷる娘」を全面にラッピングした観光PRカーを活用してPR



- プレゼントパブリシティの実施  
テレビ番組等で紀の川市産品のプレゼント



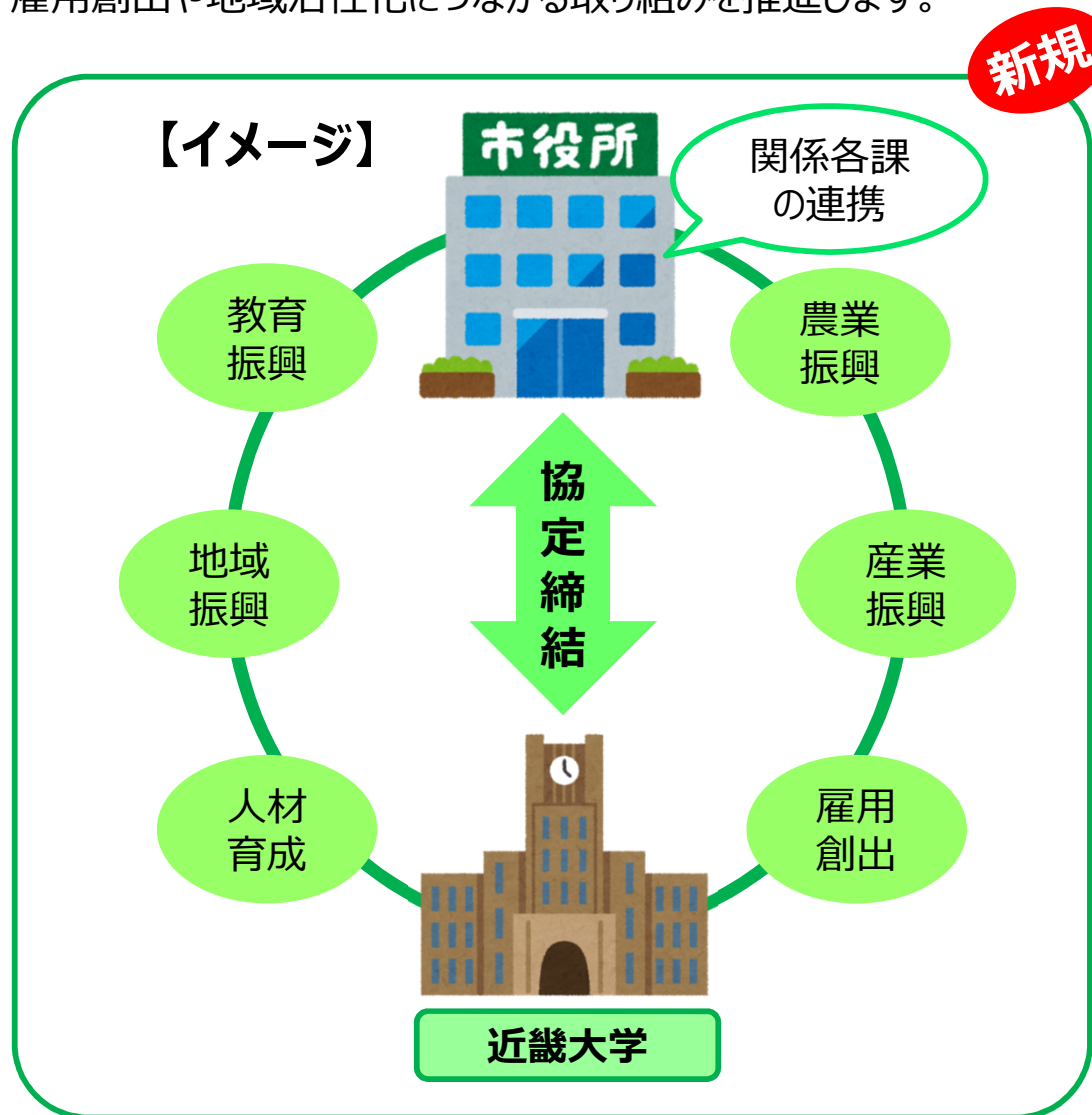
- ホームページやFacebookを活用した情報発信

# 近畿大学との連携強化

担当課：企画調整課

## 事業概要・目的

市内に近畿大学生物理工学部が立地するという優位性を活かし、包括連携に関する協定の締結と推進体制の整備を行うことで、雇用創出や地域活性化につながる取り組みを推進します。



## 検討項目（例）

- 農業の維持発展につながる共同研究
- 地元企業との共同研究による新たなビジネスモデルの創出
- 近畿大学水産研究所（グランフロント大阪店）での市内産品のPRと販売促進の検討
- 学生の地域活動への参加や市民講座開催等による地域交流の促進
- 地元企業への就職促進と大学のシーズを必要とする企業の誘致
- 下宿学生の確保による人口増加と地域経済の活性化



# 道の駅「青洲の里」を拠点とした活性化の推進

担当課：農業林業振興課

## 事業概要・目的

紀の川市の東の玄関口となる道の駅「青洲の里」の機能を強化し、紀の川市の魅力を包括的に発信する観光拠点施設へと整備を進めます。

### 「青洲の里」がもつ位置づけ・機能

- ピンクリボン運動の拠点  
世界初、麻酔による乳がん手術を成功させた医聖「華岡青洲」の偉業を称える施設であり、紀の川市のピンクリボン運動の拠点
- 食育の拠点  
近畿圏で初めて「食育のまち」宣言を行った紀の川市における食育の拠点



### 新たに「道の駅」としての機能を追加

H28.3 道の駅「青洲の里」オープン



### 拡張済工事

- EV充電器の設置
- Wi-Fi環境整備
- インフォメーション設置
- 駐車場を一部拡張
- 外灯新設工事

●道の駅「青洲の里」  
基本構想・計画の策定 5,000千円

新規

従来の位置づけ・機能を整理し、それぞれが有機的に連携する施設として再編するための計画を策定



- ①地域経済の活性化を担う拠点
- ②交流・定住人口の増加を促進する拠点
- ③地域の情報を発信する拠点



# 基幹産業である農業の振興・活性化

担当課：農業林業振興課

## 事業概要・目的

持続可能な農業を実現するため新規就農者に対する支援を実施します。また、農業者が安心して農業に取り組めるための環境づくりを進めていきます。

### ●新規就農者の支援 46,852千円

拡充

#### ○市独自の支援メニュー【拡充】

認定農業者に限定して実施していた以下の支援メニューを  
**認定新規就農者まで対象を拡充**

#### ①農機具購入に対する支援



#### ②農地の集約化に対する支援



#### ③経営管理の支援 (経営記帳簿の配布)

#### ○国の支援メニューを活用した支援【継続】

45歳未満の青年新規就農者を対象に  
就農初期段階の生活費を支援  
(年間最大150万円支援)



農業の担い手人材の確保

### ●有害獣対策の推進 16,774千円

拡充

農作物被害が深刻化していることから有害獣対策を推進

#### ○農作物を有害獣から守るための支援 電気柵等を設置するための経費を補助



#### ○有害獣の駆除（捕獲）を実施

- ①平成28年度から有害捕獲対象に**シカを追加**
- ②有害獣の駆除活動
- ③アライグマ捕獲檻の貸し出し



農作物被害の防止・抑制

### ●農業共済への加入促進 3,000千円

農作物被害に対する公的保険制度である農業共済事業の  
普及と加入者の拡大を推進（共済組合への補助により実施）

- 果樹共済への加入推進  
・果樹共済へ加入する農家の掛金の一部を補助
- 共済事業の普及啓発  
・啓発物資の作成

経営安定化の支援

# 農作物の高付加価値化と販売促進

担当課：農業林業振興課

## 事業概要・目的

農作物の付加価値を高め、新たな販路開拓と消費拡大を図るための取り組みを推進し、農業の活性化と儲かる農業の実現に向けて取り組みます。

### ●6次産業化の支援 2,000千円 新規

農業者等が自ら生産した農産物を活用した商品の開発や販売促進に関する取り組みを支援

【助成対象経費】：開発経費、販売促進費  
【補助率】：事業費の1/2以内（上限500千円）

気軽に6次産業化できる環境づくり



農作物の付加価値の創出

### ●トップセールスの実施 1,936千円

紀の川市産フルーツの販売促進のため、JA紀の里と連携して全国各地でトップセールスを実施

- 全国の卸売市場等でのセールス  
仲買人や市場関係者への特産品の売り込み



- ピーチ航空との共同イベントの開催  
関空でピーチ航空利用客に桃の配布キャンペーンを実施



フルーツの販路拡大、販売促進

# 創業者に対する支援の充実

担当課：商工観光課

## 事業概要・目的

市内で創業を希望する人に対する支援策を充実させて、創業しやすい環境づくりを進めることで、新たな雇用創出や商業の活性化へとつなげます。

### ●これまでの創業者支援策 500千円

創業支援計画に基づき、商工会等と連携し、創業を希望する人を支援



相談窓口の開設



創業支援セミナー  
の開催



情報提供



### ●創業資金に対する利子補給 600千円

**新規**

従来の支援策に追加して、創業者に対する経済的支援策を実施

○創業資金として金融機関から借り入れた資金に対する利子分の一部を市が支援

対象者：創業支援計画に基づき  
創業セミナーを受講完了した方  
支援期間：最大4年間  
支援額：年1.5%以内  
(上限15万円)



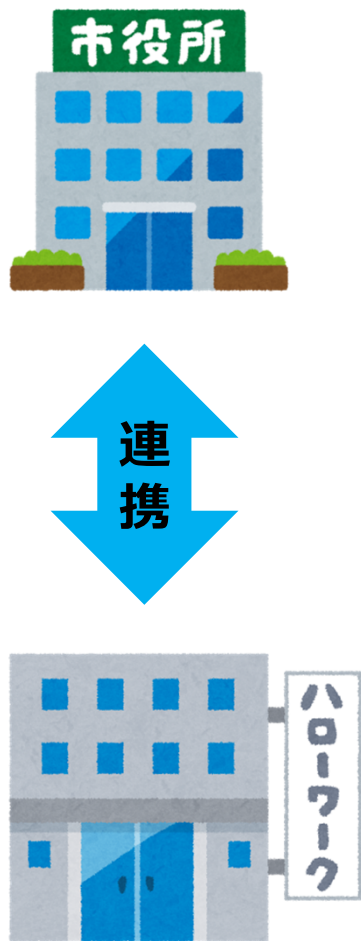
紀の川市内で創業しやすい環境づくり

# 就業支援体制の整備・充実

担当課：商工観光課/企業立地推進課

## 事業概要・目的


和歌山労働局・ハローワークと連携して雇用対策を実施することで、市民の皆様が就業しやすい環境整備を進めます。




和歌山労働局・ハローワークとの  
連携により雇用対策を推進

- **地域職業相談室の運営（紀の川ワークサロン） 127千円**


・貴志川地区で平成18年から開設。職業相談、職業紹介、求人情報提供端末(5台設置)による情報提供を実施


- **臨時の職業相談窓口の開設 新規**


・市の公共施設を利用した臨時の職業相談窓口の開設


- **合同企業説明会の開催 新規**


・市内企業への就職を促進するため合同企業説明会を開催


- **情報連携の強化 新規**

・市内企業の雇用状況を把握し、求人情報を提供  
・ハローワークからの求人情報を市の窓口、ホームページにおいて周知


- **若年者に対する就職支援 新規**

・市内の高等学校等におけるガイダンスの実施



# 企業誘致の推進と企業間ネットワークの強化

担当課：企業立地推進課/商工観光課

## 事業概要・目的

県内トップクラスの立地条件と優遇制度を備え、働く場を確保するため、積極的に企業誘致を進めます。また企業間のネットワークづくりを強化し、雇用創出と産業振興につなげます。

### ●企業誘致の推進 10,681千円

#### ○誘致企業に対する優遇制度

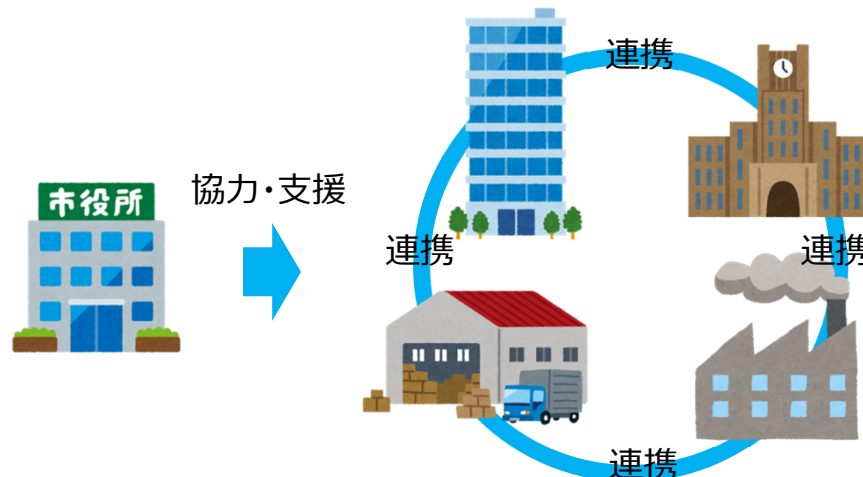
- ・企業立地促進助成金
- ・雇用促進助成金
- ・工場設置助成金

#### ○誘致活動の強化

- ・企業誘致フェアへの出展
- ・積極的な営業活動の展開



### ●企業間ネットワークの強化 58千円



#### ○市内に立地する企業と大学、JA、商工会等との交流を促進

#### 【期待する効果】

- ・新しい事業の創出
- ・新しい技術の開発
- ・ネットワーク内取引の拡大

雇用創出、産業振興

# 医療費助成制度の拡充

担当課：健康推進課/国保年金課

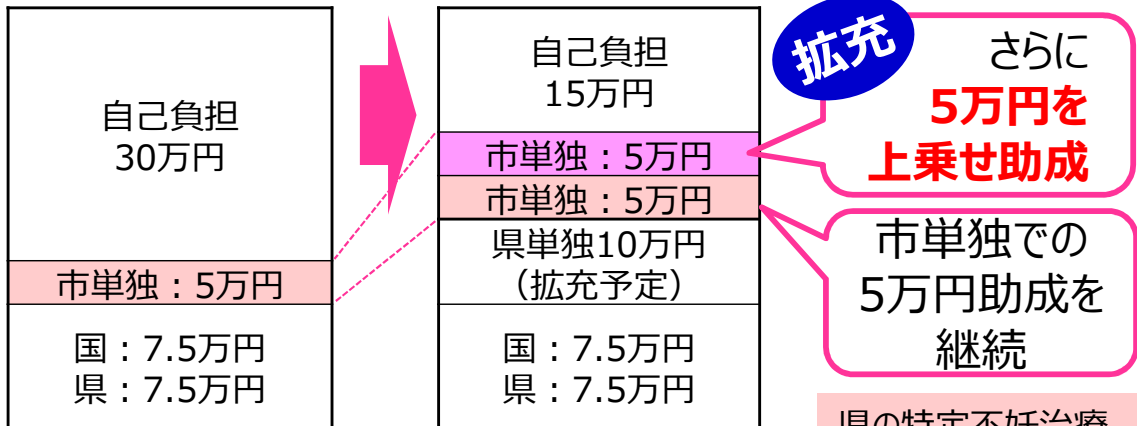
## 事業概要・目的

医療費助成制度の充実を図ることで、出生率の向上と子育てしやすい環境整備を進めます。

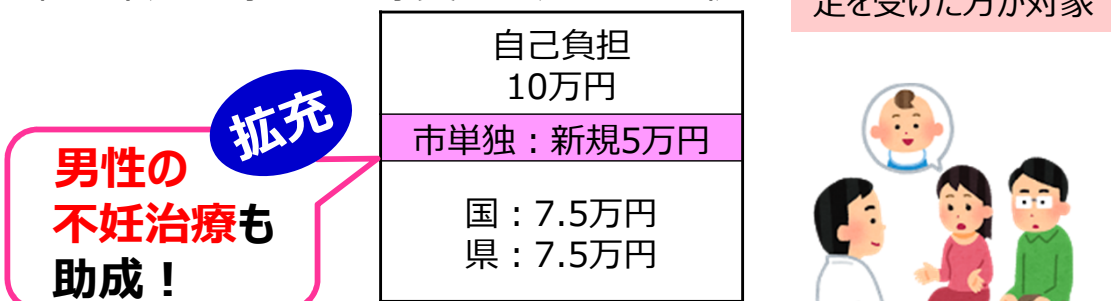
### ●不妊治療費の助成 6,900千円

不妊治療費の助成範囲を拡充し、自己負担額の軽減を図ります。

○特定不妊治療（2～6回目）※治療費を50万円とした例



○男性の不妊治療 ※治療費を30万円とした例



出産の希望をかなえる支援



### ●子ども医療費の助成 215,291千円

**拡充**

子どもの医療費無料化の対象を拡充します。

【現行】

入院分：中学校卒業まで対象  
通院分：小学校卒業まで対象



通院分を中学校卒業まで拡充

子育て世代の経済的負担を軽減！！

早期発見・早期治療



子育てしやすいまちづくり

# 出会いと交流の場の創出

担当課：企画調整課

## 事業概要・目的

少子化・未婚化・晩婚化対策の一環として、結婚を希望する独身の男女に出会いの場を提供し、市内における結婚の機運を高めます。また、同窓会の開催を支援し、ふるさと回帰のきっかけづくりやシビックプライドの醸成を図ります。

### ●婚活イベントの開催 150千円

#### 【婚活支援】

参加者が気軽に参加できるような体験型イベントを実施し、男女の出会いの場づくりを支援します。



出会いの場を創出

結婚の機運醸成

### ●同窓会の開催支援 650千円

新規

若年層の  
転出が深刻

#### 【同窓会の開催支援】

20歳から39歳までの若年層を対象に、市内で開催される同窓会の開催支援として、1人当たり2千円を補助

- ・男女混合で開催するものを支援
- ・ふるさと納税等の各種パンフレット等を配布し、市をPRする機会を創出
- ・まちづくりの参考とするためのアンケートの協力を依頼

交流の場を創出

Uターンのきっかけづくり



# 教育環境の充実

担当課：教育総務課/学校教育課

## 事業概要・目的

市内小中学校施設の整備、改修により、子どもたちが安全・安心に学べるよう教育環境の充実を図っていきます。

### ●小学校へのエアコン整備 236,878千円

すべての普通教室と音楽室（未設置校）にエアコンを設置（※中学校は設置済）

- 平成28年度設置予定校  
池田、田中、長田、粉河、西貴志、中貴志、東貴志（計7校）
- 平成29年度設置予定校  
川原、鞆淵、麻生津、上名手、調月、丸栖（計6校）



### 快適な学習環境の提供

### ●粉河・那賀給食センターの統合 99,583千円

那賀給食センターを粉河給食センターへ統合

【効果】  
食物アレルギーへの対応が充実



### 安全・安心な給食の提供

### ●非構造部材の改修 20,846千円

新規

平成27年度に市内小中学校の耐震化が完了



### 小中学校の非構造部材の改修へ

＜平成28年度の改修内容＞

- 屋内運動場の
- ・照明器具の落下防止
- ・バスケットゴールの補強、撤去



### さらなる安全対策を推進

照明器具の落下防止と同時にLED化を実施

# 保育環境の充実

担当課：子育て支援課

## 事業概要・目的

子どもたちが通う学童保育施設、保育園の充実を図り、子育て世代が安心して子育てできるまちづくりを進めていきます。

### ●学童保育施設の整備 50,122千円

**新規**

放課後における児童の健全な育成を図るため、老朽化や環境面に課題のある学童保育施設の整備、改修を実施

#### ①丸栖っ子クラブ（丸栖小学校）

- ・他用途からの転用施設
- ・施設の老朽化
- ・保育児童の増加



- ・トイレ不足
- ・雨漏り
- ・手狭



### 施設の改修を実施

#### ②あらかわ放課後児童クラブ（安楽川小学校）

- ・保育児童の増加により、スペースが手狭な状況
- ・小学校隣接のコミュニティセンターの1室を借用しており、拡張が困難



### 専用施設を整備

児童がのびのびと過ごせる保育環境の整備

### ●私立保育園整備への補助 187,499千円

**新規**

私立保育園が実施する園舎の整備費用の一部を支援

支援対象：れもん保育園



### 整備効果

- ・総定員の増加
- ・低年齢児童の受入拡大



# フルーツ給食の実施

担当課：学校教育課

## 事業概要・目的

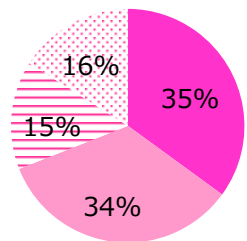
日本有数のフルーツ産地という特性を活かし、紀の川市の子どもたちが「本物の美味しいフルーツ」を食べる機会を創出するとともに、併せて「学ぶ」機会を創出することで、「食育」、「地産地消（消費拡大）」、「シビックプライドの醸成」を推進します。

### 【事業背景】

## 子どものフルーツ離れが深刻

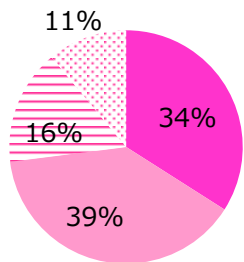
約1/3の子どもが1週間にまったく果物を食べない状況

小学校4年生（対象558名）



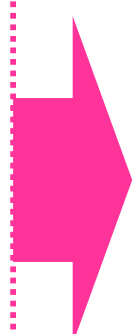
- 食べない
- 1週間に1回～3回
- 1週間に4回～6回
- 毎日

中学校2年生（対象607名）



- 食べない
- 1週間に1回～3回
- 1週間に4回～6回
- 毎日

食育に関するアンケート調査【抜粋】 H24調査



### ●フルーツ給食の実施 2,386千円

新規

学校給食において、月1回、紀の川市産の旬のフルーツを提供



フルーツ提供



食べる機会

「食べる機会」に加えて「学ぶ機会」を創出  
フルーツが持つ機能性などを学習し、紀の川市が誇る地域資源であるフルーツの認識を高める機会づくり



情報提供



学ぶ機会

「食育」、「地産地消」、「シビックプライド醸成」

# 日本体育大学との連携・交流

担当課：生涯スポーツ課

## 事業概要・目的

日本体育大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、それぞれの有する教育資源を有効かつ適切に活用し、社会貢献を図ることを目的に相互交流を展開し、市民の皆様の健康・体力の維持増進につなげます。

### <これまでの取組み経過>

- H27.2 体育・スポーツ振興に関する協定を調印（関西初）
- H27.10 田中理恵助教を招き講演会を開催
- H28.1 第1回紀の川市体育スポーツ推進協議会開催（日体大との連携事業等を検討）



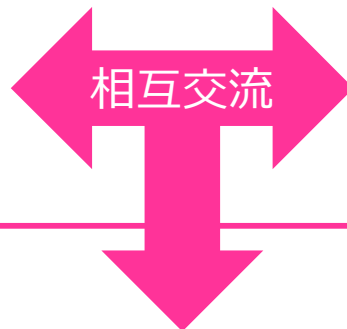
### ●スポーツに関する交流 1,131千円

新規



実施時期：平成28年8月予定

市内小学生20名を日本体育大学へ派遣し、先進的な体育施設の見学とスポーツ体験を実施



実施時期：平成28年8月予定

日本体育大学から専門的な知識を有した人材を招聘し、各競技の基礎知識と技術指導を実施

スポーツを通じた相互交流を図りながら見識を深め、健康・体力の維持増進に努める

# 京奈和関空連絡道路の整備促進

担当課：建設総務課

## 事業概要・目的

京奈和自動車道紀の川市ICから阪和自動車道上之郷ICの間を最短で結ぶ新たな道路の整備促進を進めます。走行時間短縮、企業誘致、観光・農業振興、災害対応等、多方面での効果が見込まれ、紀の川市の将来を左右する最重要路線であることから早期の整備着手に向けて取り組みを進めます。

### <整備イメージ>



### <これまでの取組経過>

平成21年2月

「京奈和関空連絡道路促進協議会」設立  
紀の川市と泉佐野市の2市により設立

平成27年7月

「京奈和関空連絡道路建設促進期成同盟会」設立

新たに近隣7市8町（和歌山市、海南市、橋本市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町、有田川町、貝塚市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）が加入し設立



### <平成28年度の主な事業内容>

● 国への要望活動【継続】 150千円

期成同盟会加入団体と連携し早期の整備着手を要望

● 調査経費 2,000千円

事業効果等整備を促すための調査を実施

● 市民フォーラムの開催 896千円

市民や地元企業の理解を深めてもらうことを目的に開催

● 啓発用物資の作成 454千円

道路の整備効果等を取りまとめたパンフレット等を作成

新規

新規

新規

事業実現に向けて  
取り組みをさらに強化

# 公共交通機関の充実・維持

担当課：企画調整課

## 事業概要・目的

地域の公共交通機関の充実を図ります。また民間の公共交通事業者に対して路線維持のための支援を行います。

### ●デマンドタクシーの導入 1,239千円

**新規**

- ・山間部などの道が狭く、バス路線の開設が困難であった地域にデマンド方式のタクシーによる路線を開設
- ・平成28年度は実証運行を行い、効果検証を行うとともに他地域への導入を検討

※デマンド方式・・・予約に応じて運行する方式



料金	1運行1人200円 (小人・障害者及びその介助者は100円)
予約方法	利用日前日の午後9時までに電話予約
運行日	毎日(1月1日～1月3日を除く)



### ●貴志川線に対する支援 54,670千円

貴志川線が安全運行を継続するために県と和歌山市の3者で財政支援を実施



<支援内容>

- 支援期間：平成28年度から37年度
- 支援対象：国の補助制度が対象としている設備の更新及び修繕(レール、枕木等)
- 支援の上限額：2億7,763万円(紀の川市負担額)

### ●バス路線の開設・支援 64,823千円

住民の身近な移動手段を提供するため、路線バスを補完する路線の開設と民間路線バスの運営を支援



- 地域巡回バスの運行(市内8コースを運行)
- 紀の川コミュニティバスの運行(岩出市と共同運行)
- 粉河熊取線運行支援(粉河駅～熊取駅の運行を支援)

# 道路の利便性向上と歩行者の安全確保の推進

担当課：道路河川課

## 事業概要・目的

公共施設や公共交通機関へアクセスする路線の整備を進めます。また歩行者の安全確保のため、通学路等の歩道整備を進めます。

### <主な整備路線>

#### ●市道上野庁舎前線 260,000千円 (路線①)

- ・市役所本庁舎へのアクセス道路の拡幅
- ・打田中学校生徒の安全確保のため、歩道未設置区間の整備

#### ●市道東国分赤尾線 10,000千円 (路線②) **新規**

- ・市役所本庁舎へのアクセス道路の拡幅
- ・打田中学校生徒の安全確保のため、歩道未設置区間の整備

#### ●市道佐川水源地線 1,500千円 (路線③) **新規**

- ・県が実施する河川改修と合わせて打田体育館へのアクセス道路の拡幅と歩道整備

#### ●市道中学校連絡線 175,738千円 (路線④)

- ・粉河中学校生徒の安全確保のため、進入路を整備

#### ●市道粉河65号線 45,150千円 (路線⑤) **新規**

- ・「旧粉河支所」の跡地利用を視野に入れ、支所跡の敷地内に新設道路を整備

#### ●市道中93号線 4,000千円 (路線⑥) **新規**

- ・貴志駅へのアクセス道路の拡幅
- ・駅利用者の安全確保のため、歩道を整備



## 災害対応力の強化

担当課：危機管理課/消防防災課

### 事業概要・目的

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るための取組みを進めるとともに、災害の被害を最小限に食い止めるため、消防・防災施設の整備を進めます。

#### ●小学生対象の防災教室の開催 179千円

新規

防災意識の醸成を図るため、小学校5年生、6年生を対象とした防災教室を開催

- 災害に対する基礎知識の講習
- ゲーム形式による防災学習
- 資機材の使い方を体験



防災への関心を持つ機会づくり

#### ●防災総合訓練の実施 770千円

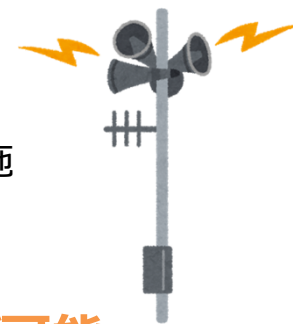
各種団体（自治会、自主防災組織、消防団等）が参加し、大規模地震が発生したとの想定により、倒壊家屋からの救出訓練・避難訓練・炊き出し等の訓練を実施



市民の防災意識の向上

#### ●防災行政無線のデジタル化 9,990千円

市内に設置している防災行政無線のデジタル化を実施  
平成28年度については  
主に打田地区、粉河地区の整備を実施  
事業期間：平成26年度～31年度  
総事業費：約11億5千万円



より確実な情報伝達が可能

#### ●消防施設の整備 96,782千円

地域の防災拠点となる消防施設を計画的に整備します。

- 消防器具庫
- 防火水槽
- 小型動力ポンプ付積載車



地域の消防力強化



# 認知症対策の充実

担当課：高齢介護課

## 事業概要・目的

認知症高齢者とその家族が住みなれた地域で安心して暮らせるよう支援を行うとともに、認知症をはじめとした介護予防を推進します。

### ●グループホームの整備 43,178千円

新規

○認知症高齢者が共同生活する施設整備に補助

定員9人×2ユニットのグループホームを市内に1箇所増設し、認知症高齢者が安心して暮らせる住まいを整備



住みなれた地域で生活できる環境づくり

### ●認知症予防の推進 2,781千円

○つどい場「ひなたぼっこ」の開催

高齢者が集い、会話をし、ほっとひと息つける場づくり



○運動（介護予防）教室の開催

ストレッチや筋力トレーニングを週1回、3ヶ月間実施



教室がきっかけとなり自主的に  
予防に取り組む団体が多数誕生！

予防のきっかけづくり

### ●地域で支える体制づくり 476千円

○認知症講演会の開催

認知症に対する正しい理解を深めるため、講演会を開催



○「認知症サポーター」養成講座の実施

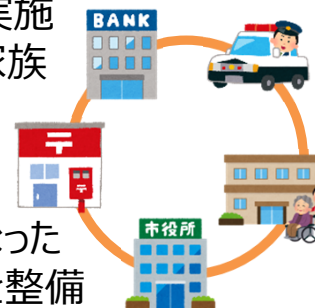
認知症の方とその家族の方々をサポートするためサポーターの養成を実施

正しい情報の普及と啓発を促進

### ●徘徊高齢者に対する対策 504千円

○徘徊高齢者の位置探索サービスの実施

認知症高齢者を在宅で介護される家族にGPS端末機の貸し出しを実施



○「ほっと安心ネットワーク」の推進

介護事業所等と連携し行方不明となった徘徊高齢者を早期発見できる体制を整備

ほっと安心できる体制づくり

# 市民目線に立った行政運営の仕組みづくり

## 事業概要・目的

新たな長期総合計画の策定を契機に、行政経営システム（総合計画の進行管理（＝行政評価）、組織・人事管理、財政運営、行政改革との連動）を構築、運用することで市民サービスの更なる向上を目指していきます。

### ●新たな総合計画の策定 8,327千円

新規

市民の皆様が望む“これからの紀の川市”の実現を目指し平成30年度を始期とする新たな総合計画を策定します。

平成28年度については市民の皆様と市長との対話集会、アンケート調査や懇談会を実施し、基本構想（案）を策定する予定



### ●組織機構の再構築 9,452千円

新規

現行業務の実態を調査し、課題の抽出、整理、分析を実施し、改善を図ることで効率的・効果的な組織の構築を目指します。

平成28年度については業務の棚卸と業務量調査、さらに人材育成の観点から職員研修を強化する予定



### ●行政評価制度の構築 6,437千円

新規

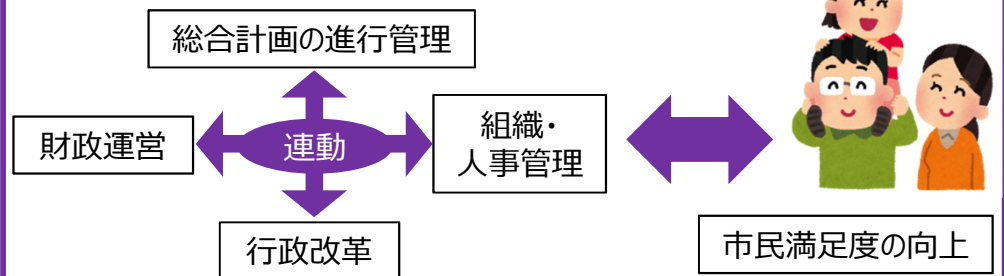
成果重視、市民本位の行政の実現を目指し、行政評価制度（総合計画進行管理、サービス検証システム）を構築します。

平成28年度については制度設計、評価の実施、制度定着に向けた研修を実施予定



### 「行政を経営する」という観点に立って

市民満足度の向上を図るため、成果とコストを意識した効率的で質の高い行政サービスを提供するという「行政経営」の考えに基づき、行政経営システムを構築します。



# 計画的な公共施設の解体・統合の推進

担当課：企画調整課/管財課/環境衛生課  
廃棄物対策課/学校教育課

## 事業概要・目的

公共施設マネジメント計画に基づき、市民の皆様の財産である公共施設の適切な管理運営を進めていきます。

### 【公共施設マネジメントの取組み】

**【平成26年度】  
公共施設白書  
の作成**

- ・公共施設の実態把握
- 財政状況を考えると  
すべての公共施設を現状のまま  
維持、更新することは困難



保有量の最適化が必要

**【平成27年度】  
公共施設マネジメント  
計画の策定**

- ・施設評価の実施  
(老朽化・利用状況)
- ・施設類型ごとに方向性を検討



公共施設の管理に関する  
基本方針と保有量の目標設定

**【平成28年度】  
公共施設マネジメント  
の実践**

公共施設マネジメント計画に基づき  
公共施設の適正な管理を実施



- ①閉鎖した施設で老朽化して  
いるものを優先的に解体
- ②統合により運営コストの縮減  
が可能なものを統合

### <平成28年度の実施予定事業>

#### ●旧分庁舎の解体 308,395千円

本庁舎の建設により閉鎖となった旧分庁舎を解体  
平成28年度は旧粉河支所等を解体予定

#### ●ごみ焼却施設の解体 180,205千円

紀の海広域施設組合の稼動により廃止となるごみ焼却施設  
を解体。平成28年度は打田美化センターを解体予定

#### ●粉河、桃山火葬場の解体 40,061千円

五色台聖苑の供用開始により廃止となった粉河火葬場と  
桃山火葬場の解体を予定

#### ●粉河・那賀給食センターの統合 99,583千円

那賀給食センターを粉河給食センターへ統合し、運営コスト  
の縮減と設備の充実を図るもの。(再掲)